

盛土による災害の防止に関する検討会（内閣府）について

令和3年7月に静岡県熱海市で発生した土石流災害を受けて、内閣府が設置した「盛土による災害の防止に関する検討会」の委員に知事が就任し、盛土の総点検等を踏まえた対応方策等について検討してきた。

結果、「危険な盛土箇所に関する対策」や「危険な盛土等の発生を防止するための仕組み」についての提言を行い、今後、関係府省連携の下、盛土による災害の防止に取り組まれることとなった。

1 検討会開催状況（すべてオンライン）

(1) 第1回（9月30日）

- ・熱海市における土石流災害について
- ・盛土の総点検について
- ・盛土等に関する土地利用規制の現状等について

※知事が出席し、「詳細調査に係る予算措置」、「法制化による全国統一的な基準・規制」について要望

(2) 第2回（10月29日）

- ・関係団体（全国農業会議所、全国建設業協会、全国知事会等）へのヒアリング

(3) 第3回（12月10日）

- ・盛土の総点検に関する現在の状況
- ・とりまとめの方向性

(4) 第4回（12月20日）

- ・盛土の総点検に関する暫定とりまとめ
- ・提言とりまとめ

2 盛土の総点検

(1) 進め方

- ・点検範囲は崩落等により人家等へ被害を及ぼす可能性が高い盛土（土砂災害警戒区域、山地災害危険地区、大規模盛土造成地）
- ・各地方公共団体等が、許可・届出資料等から確認した盛土や、国土地理院から提供された盛土可能性箇所データから推定される盛土等について、目視点検

(2) 結果

- ・令和3年11月末時点、全国で抽出された36,226箇所のうち28,152箇所の点検完了
- ・必要な災害防止措置が確認できなかった盛土657箇所
- ・当県は調査対象174箇所の点検完了（詳細調査や応急対策工が必要な箇所なし）

3 提言概要

- ・別紙のとおり